

# ドクガ ハンドブック

～被害にあわないために～



札幌市保健所

# ドクガとは？



手稲区を中心とした札幌市北西部では、ドクガの発生が確認されています。

ドクガには<sup>どくしんもう</sup>毒針毛と呼ばれる毛が生えています。<sup>どくしんもう</sup>毒針毛が皮膚に刺さると、かゆみ、炎症を起こします。また、ドクガに直接ふれなくても、風で飛散した<sup>どくしんもう</sup>毒針毛によって皮膚炎を発症することがあります。ドクガが発生している地域では、5月下旬から、7月上旬までは、不用意に草むらに入らない、洗濯物を外に干さないなどの注意が必要です。

## ドクガにさわると…？

皮膚炎を発症します。

<sup>どくしんもう</sup>毒針毛がついた場合は、こすらずにテープで取り除き、流水で洗い流しましょう。



<sup>どくしんもう</sup>毒針毛による皮膚炎

🚑 症状がひどい場合は、皮膚科に行きましょう。



# ドクガの一生

ドクガの被害を防ぎ、安全に駆除するために、ドクガの生態を知っておきましょう。



越冬前



成虫



分散開始



分散前

- ❖ 卵から成虫まで、ほぼ全ての世代で毒針毛どくしんもうがあります。
- ❖ 幼虫は、秋にうまれてから、翌年の6月上旬頃まで群れをなして行動します。
- ❖ 6月頃には、幼虫は分散しはじめ、毒針毛どくしんもうが発達します。